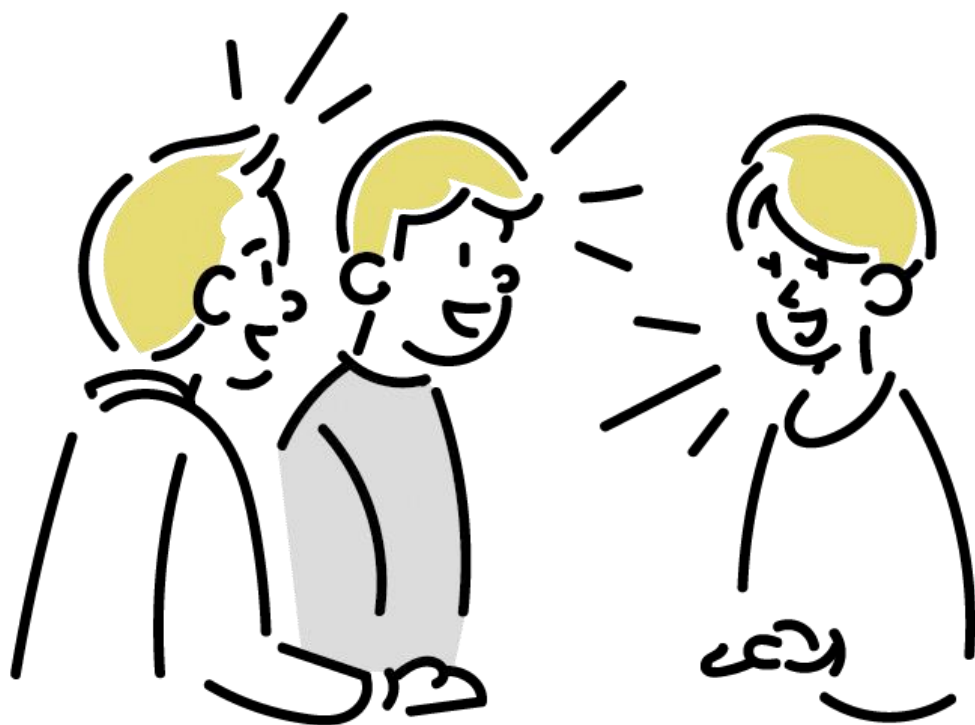




まちづくり学生ワークショップ[💡]

~今後の上越市はどんな^{まち}未来?~



実施報告書

主催/上越市

企画政策部 企画政策課

目次

はじめに	1
概要	1
日時	1
プログラム	1
グループ別提案内容	2
グループA 人口増加・他地域からの来客の増加	2
グループB 目指せ！！ 住みやすさナンバー1	4
グループC 観光客(リピーター)を増やす	6
グループD わくわくする学びの場 移住転入しやすい地域づくり	8
グループE つながりの多い上越	10
グループF 若い人も高齢者も笑顔で過ごせるまち	12
市長総括	14
アンケート集計結果	15
ワークショップに参加してみても	16

概要

令和5年度から8年間のまちづくりの総合的な指針となる「第7次総合計画」の策定に当たり、未来の上越を担う若者世代のみなさんに、地域のまちづくりについて考えてもらおうきっかけとして、まちづくり学生ワークショップを開催しました。

また、ワークショップを通じて取りまとめた、今後、必要と考える取組を市長に提案してもらいました。

いただいた提案については、今後の市の施策・個別事業の参考にさせていただきます。

日時

日時:2022年8月7日(日)

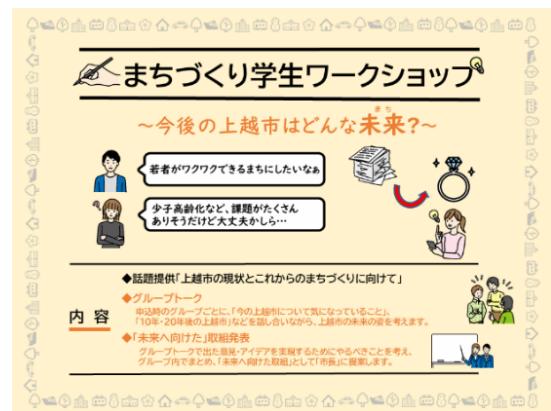
13:00~16:30

場所:上越市春日謙信交流館(集会室)

対象:高校生・専門学生・大学生

プログラム

時間	内容
12:30	開場・受付
13:00	話題提供
13:20	今の上越市について気になっていること
13:30	グループ内で意見の共有
13:50	10年・20年後の上越市はどうなっている？
14:00	グループ内で意見の共有
14:20	休憩
14:35	上越市が良い方向に進むには？
14:55	提案シートの作成
15:25	提案内容を発表
16:30	閉会



〈ワークショップのフロー〉

STEP1

上越市の良いところ
悪いところを考えよう！



STEP2

10年・20年後の上越市
はどうなっている？



STEP3

良い方向に進むための
取組を考えよう！



STEP4

市長に提案！





目指す姿

Group A

人口増加・他地域からの来客の増加

私たちからの提案

提案の理由

人口や他地域からの来客が増えれば、遊び場や商業施設が充実すると考えました。

具体的な取組

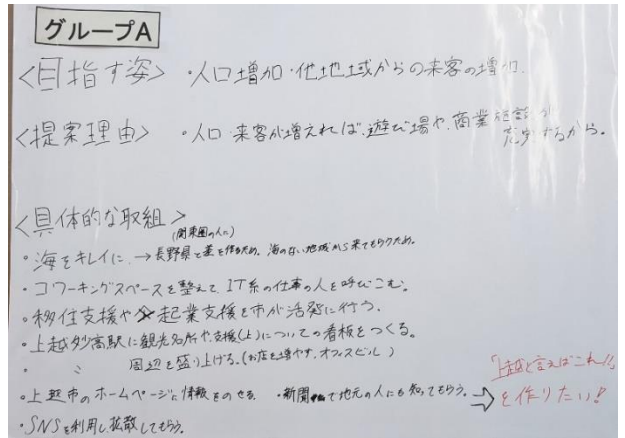
上越市は自然が豊かですが、直江津の海水浴場に行くと海が濁っています。そのため、海をきれいにすれば海水浴をしたいと思う人が増え、上越市に魅力を感じる人も増えてくると思いました。

また、東京駅などに行くと地下にお店が多いですが、上越妙高駅に戻ってくるとすごく寂しいイメージがあります。関東圏から来る人も同じ印象を持つのではないかと思います。そのために、上越妙高駅周辺にお店を増やしたり、オフィスビルを建てて盛り上げたりした方がよいと思いました。

そのほか、上越市の魅力を伝えるためには、「共通認識」が必要ですが、現時点で、「上越と言えばこれ」というものがよくわからない人が多いと思います。「上越と言えばこれ」と多くの人と言える何かをつくるのが大事だと思います。



(上越高等学校:1、2年生 5人)



市長のコメント

「来客の増加」という観点は大切だと思います。お店を増やす取組としては、どうお客さん呼び込むかも合わせて考えないといけません。

「海」という魅力は、上越市に限ったものではないため、他の地域と差別化を図るためにはどうしたらよいのかを考えていく必要があります。

今回、提案いただいた「海をきれいにする」ことは、上越市の特徴になり得る大事なことだと思います。

「上越と言えばこれ」については、みなさんから一緒に考えてもらえたらと思います。

「これ」と言えるものができると地域の一体感や地域への愛着がさらに高まっていくと思います。





上越市の気になっているところ

イイね♪

- ・イベントがたくさんある
- ・四季を楽しめる、山も海も近い
- ・スキー、スノボが楽しめる
- ・交通手段が多い
- ・歴史のあるまち
- ・食べ物がおいしい
- ・一年中自然を楽しめる
- ・自然に触れる機会が多い
- ・高田城址公園の桜 ……など

イマイチ!

- ・移住、起業支援が少ない
- ・駅から観光スポットのアクセスが悪い
- ・鉄道の運賃が高い
- ・「上越といえばこれ」がない
- ・魅力があまり伝わっていない
- ・田舎の交通が衰退している
- ・遊べる場所が少ない
- ・冬に電車がすぐ止まる
- ・就職先や大学が少ない ……など



10年・20年後の上越市はどうなっている

成り行きの未来

- ・市の中心にしか子どもがいなくなる
- ・伝統を継ぐ人がいない
- ・埋もれていた魅力が伝わらない
- ・老年人口割合がさらに増えてしまう
- ・人口が減少している
- ・バスや電車の数が減り住みづらくなる
- ・上越を離れる人が増える
- ・交通手段を選ばなくなる ……など

良い方向の未来

- ・魅力が多くの人に伝わったら、観光客でにぎわうまちになる
- ・商業施設の充実や自然をいかした事業を活性化して、人の行き来が多くなっている
- ・交通手段が今よりも増えて移動が楽になっている
- ・新しいモノ・コトが本格的に振興されていたりする?? ……など

サポーターより

上越市の良いところとして、自然・交通など幅広い分野で意見が出る中、「上越といえばこれ」というものがないという意見は共感を得ていました。

他地域からの来客を増加させるため、様々な視点から具体的な取組を考えており、とても感心しました。

また、提案に当たっては、普段の生活で感じていることや実体験を交えてより分かりやすく発表しており、素晴らしいと感じました。





目指す姿

Group
B

目指せ！！ 住みやすさナンバー1

私たちからの提案

提案の理由

住みやすいまちになることで、県外、市外からの転入者を増やすことしたいと考えたからです。

具体的な取組

1つ目は、山や海といった自然が豊かな「田舎」と、大きな商業施設といった「都会」もあるという、上越市の住みやすさをPRすることが必要と考えます。

2つ目は、市内には魅力的な企業がたくさんありますが、現状、若者の目に触れる機会が少ないことから、「企業ドラフト」を実施してはどうかと考えました。

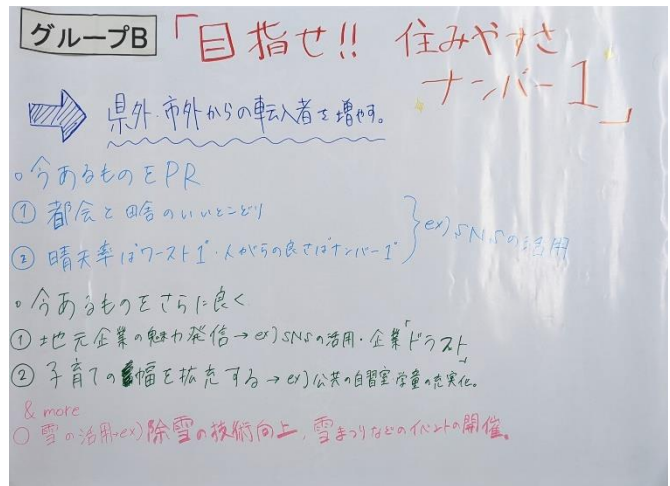
これは、企業から自社の魅力を紹介してもらい、高校生・大学生から入社したいと思った企業に投票し、インターンに行ってもらおうという制度です。

さらに投票結果が最も良かった企業は市からの支援を受けられるというものです。

3つ目は、子育て支援の拡充です。保育園までの子育て支援は、既に充実していると感じていますが、その後は、自習スペースが少なかったり、児童が減少しているため、子育て支援を学生まで広げていく必要があると考えました。



(上越高等学校・高田北城高等学校:1、3年生 4人)



市長のコメント

上越市は、若い女性が転出し、少なくなっているのでみなさんが住みやすいと思える上越市をつくることはとても大切です。

人柄の良さナンバー1は、間違いのないと思います。上越市は非常に地域の団結が強いところであると感じています。

若者から、インターンシップにぜひ参加して、地域に根付く企業の人の思いや考えを知ってほしいです。

子育て支援の拡充も大切です。提案のあった自習スペースについても、図書館の近くに高校生が自由に学習できる場所があると、より住みやすいまちになるのではないかと思います。





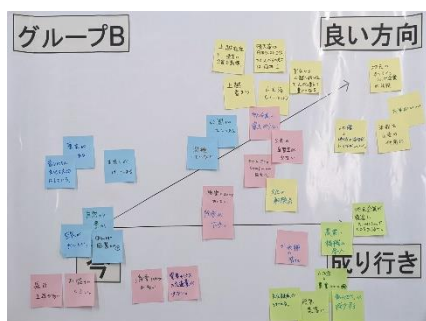
上越市の気になっているところ

イイね♪

- ・歴史がある
- ・昔ながらの文化を大切にしている
- ・お祭りがけっこうある
- ・公園がけっこうある
- ・混雑していない
- ・自然が豊か
- ・空気おいしい
- ・田んぼ風景がよい ……など

イマイチ!

- ・最近工事が多い
- ・お堀の臭いが気になる
- ・消雪パイプの水が多い
- ・電車やバスの本数が少ない
- ・除雪機が来るのが遅い、除雪が下手
- ・地元企業の露出が少ない
- ・公共の自習室が少ない
- ・雁木のシャッターが目立つ
- ・外来種の増加 ……など



10年・20年後の上越市はどうなっている

成り行きの未来

- ・地元企業が衰退し、オンラインショップに頼る生活になる
- ・人口減少
- ・農業などの縮小
- ・文化継承が途絶える
- ・限界集落になる
- ・働き世代が減少する ……など

良い方向の未来

- ・上越在住で東京の企業で勤務
- ・晴天率はワースト1位でも人柄の良さは日本一!
- ・上越雪まつり
- ・山も海もいいとこどり
- ・都会から上越へ移住者が増えて豊かに
- ・地元のオンラインショップ企業が活躍
- ・お米おいしい→米粉を小麦の代用に
- ・人口増→地域の活性化につながる ……など

サポーターより

「上越市の気になっているところ」として、自然が豊か、歴史、お祭りがある、一方で、雁木通りのシャッターが目立つ、公共の自習室が少ないなどの意見が出ました。上越市は都会の便利さや田舎の快適さ両方備えている都市であることに観点を絞り、市外からの移住を進めることに意見がまとまりました。

普段の生活を見直し、上越市の現状を勉強した上で、課題などを共有できていたと思います。

上越市に何があればいいのか意見を出し合い、対策方法も積極的に考え、グループとしてまとめられていたのは素晴らしかったです。





目指す姿

観光客(リピーター)を増やす

私たちからの提案

提案の理由

上越市の良いところとして、祭りが市内各地で開催されていることやラーメンがおいしいことが挙げられたため、良いところをいかした提案を考えました。

上越市のおいしいラーメンの魅力をいかして、市外から多くの観光客を集めることができるのではないかと考えました。

具体的な取組

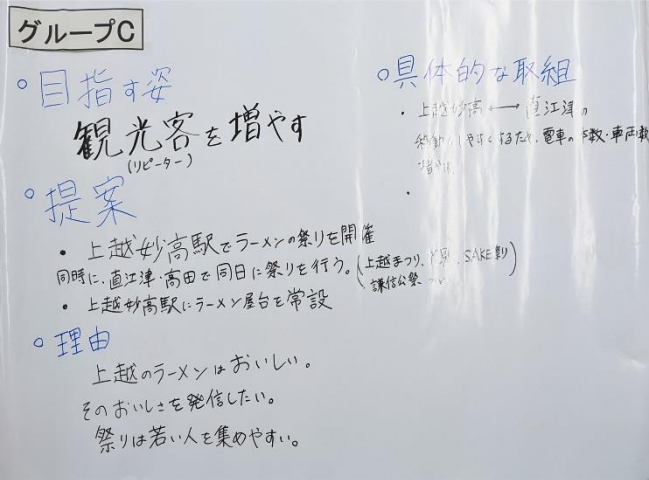
毎年、直江津や高田で行われる祭りに合わせて、観光客にとってアクセスが良い上越妙高駅で、ラーメン祭りを開催してはどうでしょうか。

また、実体験として、旅行先で食べたものは印象に残りやすいと感じた経験から、上越妙高駅にラーメン屋台を常設して、観光客などがいつでもラーメンを食べることができるようにするのもよいと思います。

また、直江津や高田の祭りとの連携を強化するため、電車の本数や車両数を増やし、利便性を高める取り組みも必要であると考えます。



(関根学園高等学校・高田高等学校:2年生 4人)



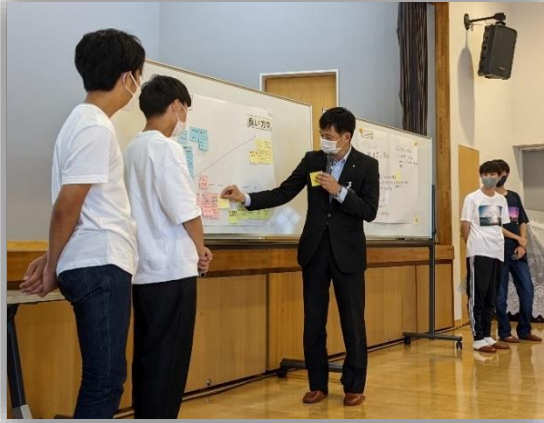
市長のコメント

上越のラーメンは間違いなくおいしいと思います。現在は、「これが上越のラーメンだ」という規格のようなものがないので、取組の方向性も考えなければいけないのかなと思います。

上越市は「発酵のまち」であるため、酒かすラーメンに取り組んでいるお店もありますよね。

「みんなが食べている、だから私も食べたい」と思うのが本当のB級グルメだと思います。

上越のおいしいラーメンをどんどん売り出していきたいですね。





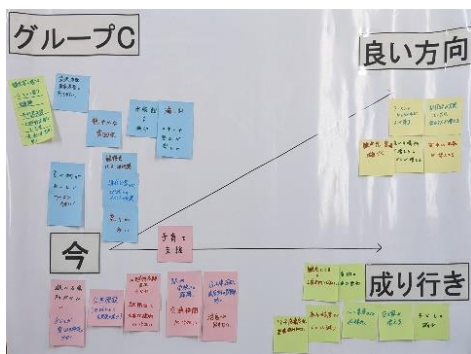
上越市の気になっているところ

イイね♪

- ・スキーや登山が楽しい
- ・穏やかな雰囲気
- ・金沢、東京方面に行きやすい
- ・食べ物がおいしい(ラーメン)
- ・祭りが多い(謙信公祭など) ……など

イマイチ!

- ・子どもが楽しめる施設が少ない
- ・地域によって公共施設の充実度が違う
- ・上越妙高駅周辺がさみしい
- ・駅周辺に主要な建物が少ない
- ・駅から学校への距離が遠い
- ・子育て支援が足りない
- ・交通機関が少ない
- ・商店街の活気が足りない ……など



10年・20年後の上越市はどうなっている

成り行きの未来

- ・子どもの減少
- ・空き家の増加
- ・中山間地域の集落などの過疎化
- ・若者が住みにくなる
- ・商店街の治安悪化 ……など

良い方向の未来

- ・ラーメンに力を入れれば人が来る
- ・駅周辺が充実したら訪れる人が増える
- ・電車の本数が増えている
- ・遊べる場所が増えたら子どもが増える ……など

サポーターより

「上越市の気になっているところ」として、夏は海、冬はスキーが楽しめる、という意見が出た一方、子育て環境、商店街の活気がない、という意見が出ました。良い点を踏まえ、上越妙高駅前でのラーメン祭り開催を提案しました。移住はハードルが高く、まず上越市を好きになってもらうために、何度も訪れてもらうことが必要というアイデアでした。上越市の一体感を持たせるため、既存の祭りと同時間開催にするといった工夫も見られました。

上越市の悪いところに「子育て環境」をあげた理由を聞いてみると、「先生が他の市より子育て環境が悪いと言っていた」とのことで、大人の様子をよく見ているのだなと感じました。2名ずつ別々の高校から参加してくれましたが、活発な議論ができました。





Group D

目指す姿

わくわくする学びの場 移住転入しやすい地域づくり

私たちからの提案

提案の理由

高校卒業後、市内に進学先が少なく、市外や県外へと若者の人口流出が続く中、13区を中心に人口減少が進んでいるという現状に、何か手を打っていきべきではないかと考えたからです。

具体的な取組

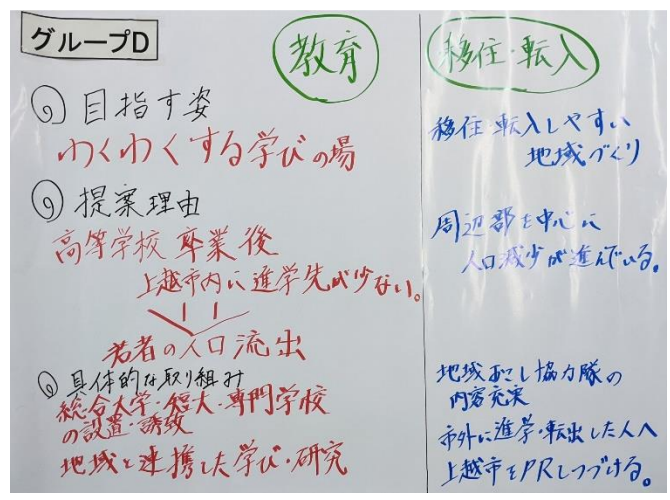
総合大学・短大・専門学校を設置・誘致、また地域と連携した学び、研究を進めるとよいと思います。わくわくするような学びの場として、学校を誘致できれば、若者の流出を抑えることができると考えます。

また、地域おこし協力隊の活動内容を充実させ、市外の人にPRするほか、市外に進学・転出した人へも上越市をPRし続けることが重要と考えました。

転出した人たちのプラットフォームをつくることで、戻ってよかったと思うきっかけ作りをすることが必要だと考えます。



(上越教育大学:2、3年生 2人)



市長のコメント

高校卒業後に、進学や就職で県外に行ってしまう人もいますので、地元での人材確保に力を入れていかなければいけないと改めて感じました。

移住・転入に当たっては、どれだけ魅力的な雇用の場を創出できるかが大事になると思います。

進学・転出した人については、その後の受入態勢づくりが一番大切なことだと思います。「何かあったら帰って来いよ」と言える大人が多いといいですね。

そのためには、地元の人がまず上越市を愛する、それを子供たちに伝えていくことが必要だと思います。また、小さいうちに上越市でよい思い出をつくってもらい、できれば帰ってきたいなと思ってもらえるような取組も大切だと思います。





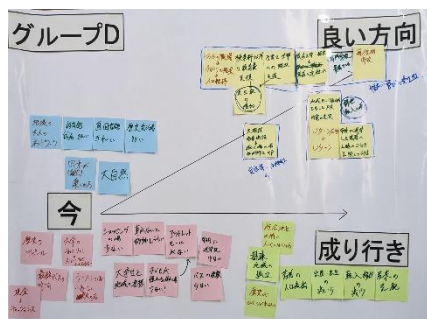
上越市の気になっているところ

イイね♪

- ・総合体育館がきれい
- ・直江津図書館がきれい
- ・地域の大人のネットワークがある
- ・四季が楽しめる
- ・大自然
- ・歴史を学ぶ場が多い …など

イマイチ!

- ・歴史のアピールが足りない
- ・大学の近くにスーパーが欲しい
- ・ショッピングの場が少ない
- ・車がないと移動しづらい
- ・市内に進学先が少ない
- ・バスの本数が少なく、最終も早い
- ・子どもがあこがれる働く場が少ない
- ・大学生と地域の連携が少ない …など



10年・20年後の上越市はどうなっている

成り行きの未来

- ・特に13区の人が減少する
- ・過疎地域の孤立
- ・歴史が次代に引き継がれない
- ・若者の人口流出
- ・出産、出生の減少
- ・転入、移住の減少
- ・産業の荒廃 …など

良い方向の未来

- ・授業料以外の教育費の支援や子育て世帯への財政支援が行われる
- ・総合大学・短大の誘致で若者が定住
- ・地域おこし協力隊をもっとPRする
- ・Uターン広告 …など

サポーターより

「上越市の気になっているところ」については人口減少を問題視し、市内に総合大学が無く、短大や専門学校が少ないことで若者が流出していると議論していました。また、ゼミ活動を通じて、浦川原区の月影地域に赴くことが多く、周辺地域の過疎化の進行を危惧していました。

そのため、①「大学や専門学校の誘致」と「大学と地域の連携強化」、②「地域おこし協力隊の積極活用」等を提案することにしました。2名とも千葉県出身ということで、他県と比較しながら上越市を客観的に俯瞰していました。大学院生ということもあり、大きなフォローも必要なく、議論を行っていました。





Group E

目指す姿

つながりの多い上越

私たちからの提案

提案の理由

私生活で通勤・通学・観光などで交通機関が使いにくいと感じたことから、公共交通機関によるつながりを充実させていく必要があると考えました。

具体的な取組

免許を返納した高齢者や働きはじめの人を対象に含め、バス・鉄道の乗車割引のバリエーションを増やすことです。

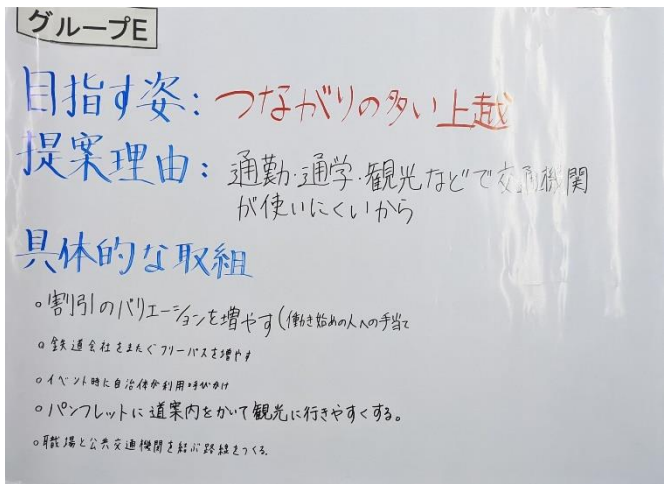
また、鉄道会社をまたぐフリーパスを増やし、観光客などがより利用しやすい公共交通機関にすることも必要ではないかと考えます。

特にイベント開催時には、公共交通機関を使ってもらうことが渋滞の緩和にもつながるため、市が利用を呼びかけることも重要ではないでしょうか。

さらに、バスの路線図が置いてあるところが少ないため、利用者にとって分かりやすい環境づくりのほか、市街地が広いので職場と駅を結ぶ通勤用のバス路線をつくるなど、民間企業と密着した交通網をつくることもよいのではないかと考えました。



(上越公務員・情報ビジネス専門学校:1、2年生 3人)



市長のコメント

交通機関が使いにくいという点で、一番は通学時だと思えます。路線バスを使うとちょうどよい時間のバスがない、接続が悪いといった状況があるので、何とかしないとイケないと考えています。

また、高齢者の方は、通院や買い物に利用していますので、行政の課題として取り組んでいかなければならないものです。

現在、通年観光ができる場所を、高田・直江津・春日山につくりたいと考えています。そのためには、公共交通機関をいかにさせるよう、様々な主体や取り組みと連携した政策が必要となってきますので、本日の提案を参考にさせていただきます。





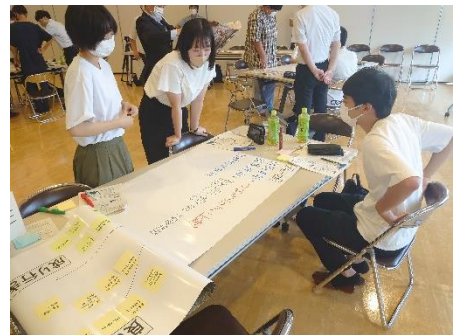
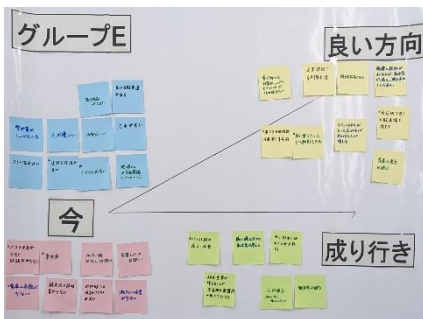
上越市の気になっているところ

イイね♪

- ・雪対策がしっかりしている
- ・スキー場が近い
- ・人が優しい
- ・道路の環境がよい
- ・イベントが多い
- ・地域の人が交通安全運動をしてくれている
- ・治安がよい
- ・治水がよい
- ・よい自転車道がある ……など

イマイチ!

- ・電車、バスの本数が少ない
- ・車必須
- ・観光地の説明員が少ない
- ・シャッター街、空き家が多い
- ・学習スペースが欲しい
- ・働きたい企業が少ない
- ・新幹線への接続、アクセスが悪い ……など



10年・20年後の上越市はどうなっている

成り行きの未来

- ・バス路線の廃止、減便
- ・働く場を求めて転出者が増える
- ・中心街がさびれて人が分散
- ・孤立世帯が増えることで災害時に連携がとりづらくなる
- ・観光客が減る ……など

良い方向の未来

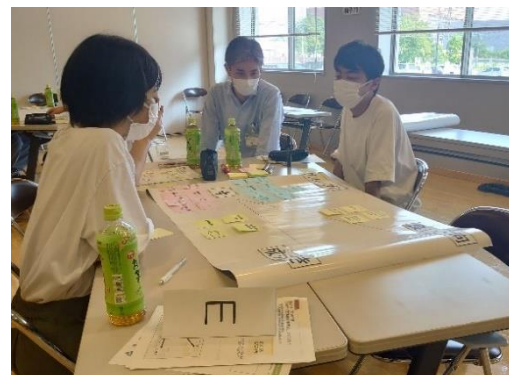
- ・雪が多くても対策がしっかりとできている
- ・企業誘致で雇用機会が増える
- ・時給が高くなる
- ・職種と給料がよくなれば転出者が減る
- ・商店街の近くに駐車場を増やす
- ・車に乗らない人でも移動しやすくなる
- ・公共交通機関利用増で事故減 ……など

サポーターより

「上越市の気になっているところ」については就職活動中の学生の立場から、魅力ある仕事の創出を期待する声や、日々利用する公共交通の利便性の向上を求める意見が多くありました。

その中からテーマを絞り、公共交通を軸に、通勤・通学の利便性向上や経済的負担の軽減、市内の観光・産業の振興につながる取組を複数まとめて提案することとしました。

全員が上越市に住み続けることを希望していることもあり、発言の端々から、上越市を本気で良くしたい、魅力的なまちにしたいという思いが伝わってきて、その前向きな姿勢に私も良い刺激を受け、楽しいひとときでした。





目指す姿

Group F

若い人も高齢者も笑顔で過ごせるまち

私たちからの提案

提案の理由

上越市にはポイ捨ての問題があり、直江津駅周辺や上沼道などにかなりゴミが落ちていて、まちの景観や自然環境が汚れてしまい、良い気持ちにならないからです。

また、地域であいさつした際に明るく、かつ目を見てあいさつしてもらえず、良い気持ちにならなかったからです。

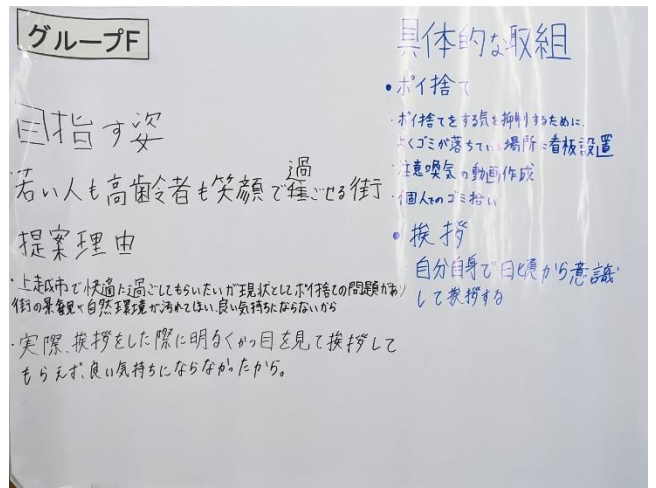
具体的な取組

ポイ捨てを抑制するために、よくゴミが落ちている場所に看板を設置するということです。また、注意喚起の動画を作成し、個人でゴミ拾いすることを意識していく取組も必要だと思います。

あいさつについては、まずは自分が日ごろから、明るくかつ相手の目を見てあいさつをすることを意識していくことが大切だと思います。日ごろの意識で相手の意識も変わってくるのではないかと考えました。



(上越公務員・情報ビジネス専門学校:1、2年生 3人)



市長のコメント

地域の方々が団結していて優しいというのは間違いないと思います。この地域の特徴です。

「あいさつ」について、自分自身で日ごろから意識して挨拶するというのは、ぜひ全市民の皆さんにお願いしたいですね。

あいさつやお礼は、人と人が交流していく上で絶対に大切ですので、とにかく徹底してやってもらいたいです。

ポイ捨てはやらないで、まちをきれいにしていく努力があるといいですね。きれいなまちは、おもてなしの基本と考えています。





上越市の気になっているところ

イイね♪

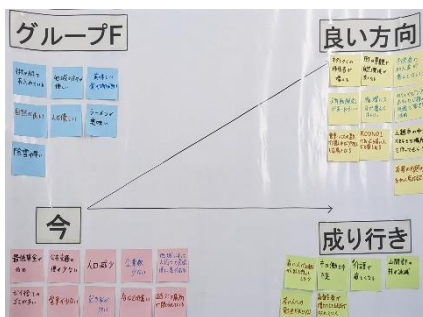
- ・まちが緑であふれている
- ・地域の方々が優しい
- ・おいしい食べ物が多い
- ・自然がよい
- ・ラーメンがうまい
- ・除雪が早い

・・・など

イマイチ!

- ・最低賃金が低め
- ・公共交通の便が少ない
- ・人口減少
- ・企業数が少ない
- ・地域によって交流度の差がある
- ・ポイ捨てのゴミが多い
- ・店が遠い
- ・遊ぶ場所が限られている

・・・など



10年・20年後の上越市はどうなっている

成り行きの未来

- ・若い人が上越市から出て行ってしまう
- ・市の働き手が不足する
- ・介護が厳しくなる
- ・山間部の集落が消滅
- ・若い人への負担が大きくなる
- ・高齢者が増加して上越市が廃れていく

・・・など

良い方向の未来

- ・市外からの移住者が増える
- ・まちの景観や自然環境がよくなる
- ・子供会の加入者が増えてほしい
- ・カフェやビジネスホテルなどさまざまな用途で空き家活用
- ・上越市の中で大好きな場所をつくってもらう

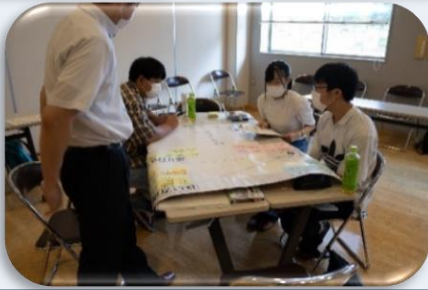
・・・など

サポーターより

「上越市の気になっているところ」については、自然や食など様々な分野に関する意見が出る中、「ごみのポイ捨てが多い」「目を合わせて挨拶してもらえなかった」といった実際の生活で気になっている事柄についても意見が挙がっていました。

こうしたことから、上越市に住んでもらう人を増やすため、意識や環境の向上を図っていく必要があるということがグループの共通意見となり、「誰もが笑顔で過ごせるまち」を目指しその具体的な取組を提案することとしました。互いの意見をよく聞き、参考にしながら、グループ一丸となって必要な取組を整理できたことは素晴らしく、チームワークの高さに感心させられました。





市長総括

みなさんから、本当に前向きな提案をいただきありがとうございました。私はもともと関西の人間で、上越市に来て、まず、思ったことが、地域のみなさんの結束力が強いということです。

町内会、地区でまとまって行動していますので災害にも強いと思います。何が起こるかわからない時代の中で、地域の力が非常に強ければ地域として生き残っていけると思います。

また、上越市には、「上杉謙信」・「前島密」・「坂口謹一郎」など、日本・世界で有名な偉人がたくさんいます。こうした方々も、もっとPRしていかなければいけないと感じています。

雪については、いろいろな事業ができると考えています。マイナスだと思っていたものが実はプラスだったということはよくありますので、「よそからの視点」はまちづくりにおいては大切です。

上越市をもう少し客観的に見て、よい点を日本全国・世界にPRしていく機会をみなさんとつくりあげていけたら、上越市はおもしろいまちになっていくと思っていますので、ご協力をよろしくお願いします。

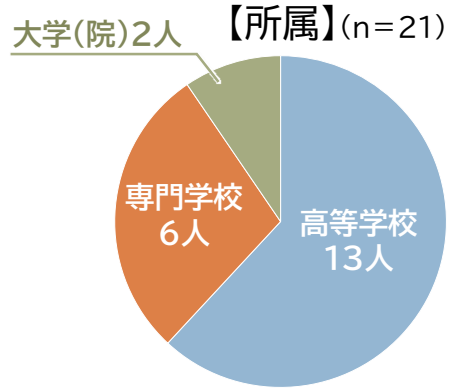




アンケート集計結果

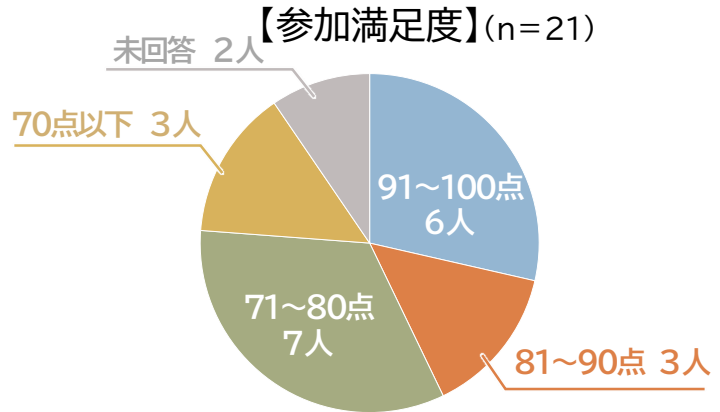
■所属

カテゴリ	人数	%
高等学校	13	61.9
専門学校	6	28.6
大学(院)	2	9.5
合計	21	100



■参加満足度(100点満点)

点数	人数	%
91~100	6	28.6
81~90	3	14.3
71~80	7	33.3
70以下	3	14.3
未回答	2	9.5
合計	21	100



■各種評価

設問	合計	最高評価	高評価	低評価	最低評価	中間意見・不明	未回答
このイベントに参加してみたいかがでしたか	21	18	1	0	0	0	2
	100	85.7	4.8	0.0	0.0	0.0	9.5
上越市の総合計画について、興味や関心は高まりましたか	21	16	3	0	0	0	2
	100	76.2	14.3	0.0	0.0	0.0	9.5
上越の未来について、興味や関心は高まりましたか	21	15	4	0	0	0	2
	100	71.4	19.0	0.0	0.0	0.0	9.5
イベントを通じて、今後市内の様々な取組に参加してみようと思いましたが	21	12	7	0	0	0	2
	100	57.1	33.3	0.0	0.0	0.0	9.5

【枝問別選択肢】

	最高評価	高評価	低評価	最低評価	中間意見・不明
このイベントに参加してみたいかがでしたか	よかった	どちらかと言えばよかった	どちらかと言えばよくなかった	よくなかった	わからない
上越市の総合計画について、興味や関心は高まりましたか	高まった	どちらかと言えば高まった	どちらかと言えば高まらなかった	高まらなかった	わからない
上越の未来について、興味や関心は高まりましたか	高まった	どちらかと言えば高まった	どちらかと言えば高まらなかった	高まらなかった	わからない
イベントを通じて、今後市内の様々な取組に参加してみようと思いましたが	参加したい	どちらかと言えば参加したい	どちらかと言えば参加したくない	参加したくない	わからない



ワークショップに参加してみた

ワークショップについて

- ・自分の想像以上に上越市の良い点がたくさんあり、とても勉強になった。
- ・考えたアイデアを市長に聞いていただきアドバイスをもらえるという、とても貴重な体験ができた。
- ・上越市の未来について考えるよい機会になった。
- ・上越市のよいところもあれば、課題点も多くあると感じた。
- ・意見交流をすることの大切さをとても感じられたよい機会だった。
- ・もう少し、詳しく調べたり話したりして客観的に意見が述べられたらよかった。
- ・他の班の意見から、上越市の良さを再発見できた。
- ・多くの人が集まり、発表することで今まで思いつかなかったアイデア等に触れることができ、新鮮だった。
- ・普段あまり考えない内容だったが、改めて上越市の良さを知ることができた。
- ・もっと時間を使って、上越市のことについて話したいと思える機会だった。
- ・何をすれば良くなるか、1人ではなく多くの方の意見を聞くことができた。

今後について

- ・上越市の良い点をいかせるようなイベントや企画を自分でも考えていきたい。
- ・今後も上越市に関するイベントに参加し、魅力を広めていきたい。
- ・市長からのアドバイスを通して、市政に対してもっと具体的な視点から今後も考え続けたいと感じた。
- ・上越市についてもっと理解を深め、良さをたくさんの人に知ってもらいたいと思った。
- ・進学先は市外を希望しているが、上越市の現状を知って、将来的に何か関わっていききたいと思った。
- ・今後もこのようなイベントがあれば、もっと大きい規模でやってもらいたい。

更なる提案など、その他

- ・除雪について、地域によって差が激しいので、ぜひ地域の声を知ってほしい。
- ・観光を活性化するため、周辺部の駐車場を活用した「パーク&ライド」を取り入れるのが有効ではないか。
- ・鉄道会社だけでなくバス会社ともつながりを持つことでより良くなると思います。
- ・もう少し話し合いをしたかった。
- ・上越市のことをあまり知らなかった。
- ・働く場所が少ないということが、誤りということを知ることができてよかった。
- ・地域の団結力の強さ、やさしさ、人の温かみが大切。
- ・これまでとは違う、他の方向・視点からの考え方が重要。